

平成31年度 前期選抜の選抜・評価方法

学校番号 100
千葉県立長生高等学校 全日制の課程 普通科

1 期待する生徒像

次の全てを満たす生徒

- ア 人物及び学習成績が優れていること
- イ 各種活動に積極的に取り組んでいること

2 選抜資料

(1) 学力検査	5教科の学力検査の得点
(2) 調査書	中学校の校長から送付された調査書
(3) 作文	字数：400字以上500字以内 検査時間：50分

3 評価項目及び評価基準

(1) 学力検査〔500点満点〕

評価項目	評価基準
5教科の得点合計	5教科（各教科100点満点）の合計500点満点で評価する。

(2) 調査書 アの数値に、エについて加点（上限10点）したものを調査書の得点とする。

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	算式1で求めた数値で評価する。 評定1または未評価の教科がある場合は、審議の対象とする。
イ 出欠の記録	各学年において欠席が20日以上ある場合は、審議の対象とする。
ウ 行動の記録	総合的に判定する際の参考とする。
エ 特別活動の記録、部活動の記録及び特記事項	学級活動、生徒会活動、学校行事、部活動、その他の活動で特に積極的に取り組んだと認められる記述については加点する。
オ 総合所見	特に優れた内容と認められる記載がある場合は、総合的に判定する際の参考とする。

(3) 作文〔10点満点〕

2名の評価者が、次の3つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、a（優れている）・b（標準的である）・c（やや問題がある）・d（問題がある）の4段階で評価し、2名の評価者の評価の組合せ（aa～dd）ごとに得点化する。ccまたはcdまたはddの評価の組み合わせが1つでもある場合は、審議の対象とする。

評価項目	評価基準
ア 字数	指定された字数に対して過不足がない。
イ 内容	与えられたテーマに対して内容が適切であり、全体としてまとまりがある。
ウ 文章表現	誤字や脱字がなく、文法が正しく用いられ、文章表現が優れている。

4 選抜方法

(1) 選抜の方法

「学力検査の成績」、「調査書の得点」、「第2日の検査（作文）の得点」を全て合計した「総得点」により順位をつけ、各選抜資料の評価等について慎重に審議しながら、予定人員までを入学許可候補者として内定する。

〈総得点の満点の内訳〉

学力検査の 成績	調査書の得点		第2日の検査の得点	総得点
	評定（算式1）	加点	作文	
500点	$(135 + \alpha - m)$ 点	10点	10点	$(655 + \alpha - m)$ 点

（算式1） α ：県が定める評定合計の標準値95
 m ：中学校評定合計平均値

(2) その他

自己申告書が提出された場合には、選抜のための資料に加える。ただし、提出されたことにより、不利益な取扱いはしない。

5 その他

過年度卒業者については、第2日の検査終了後、別途個人面接を行う。